



下呂市 GERO CITY 議会だより assembly

令和元年11月1日
第62号



竹原小学校運動会 鼓笛パレード

CONTENTS

- 9月定例会の報告(審議結果、委員会報告) (P 2~P 5)
- 9月定例会の報告(平成30年度決算審査、監査委員審査意見) (P 6~P 7)
- 一般質問で11人が市政を問う (P 8~P13)
- 委員会視察、表紙の写真、12月定例会日程 (P13~P14)

9月定例会の報告

9月2日から30日までの29日間、令和元年第2回下呂市議会定例会を開催しました。初日には、人権擁護委員候補者の推薦、市功労者の表彰と市農業委員会委員の任命に同意しました。

条例の改正や財産の譲与のほか、市内中学生及び高校生を対象とした講演会の開催経費などの一般会計補正予算、平成30年度決算などを委員会に付託し、最終日に可決、認定しました。また職員の不適切な事務処理による市民の信頼失墜に対し、市長及び副市長の給与を減額するための条例改正などが最終日に提出され、可決しました。



上程議案と審議結果

○全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議 案 名	審議結果
人権擁護委員候補者の推薦について 人権擁護委員として井上和美さんを推薦するため、議会の意見を求めるもの。	適 任 (全会一致)
下呂市功労者表彰につき同意を求めることについて 船坂節郎さん、山内茂義さんを下呂市功労者として表彰するため議会の同意を求めるもの。	同 意 (全会一致)
下呂市農業委員会委員の任命につき認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意について 委員の少なくとも4分の1を認定農業者等及び準ずる者とするため議会の同意を求めるもの。	
下呂市農業委員会委員の任命について 農業委員会委員の任期満了に伴い、嶋田 浩さん、中島義彦さん、熊崎みどりさん、中川元宏さん、山下康子さん、上野耕正さん、中島尊治さん、鎌倉誠也さん、細江忠光さん、佐古 健さん、高木康則さん、金森茂俊さん、小林 寿さん、二村昭司さんを新委員に任命するため、議会の同意を求めるもの。	
飛騨農業共済事務組規約の一部を改正する規約について 飛騨農業共済事務組合が解散した場合の事務の承継団体を明記するため改正するもの。	可 決 (全会一致)
飛騨農業共済事務組合の解散について 令和2年4月1日に県下全域を対象とした農業共済組合を設立するため、飛騨農業共済事務組合を解散することについて議会の議決を求めるもの。	
飛騨農業共済事務組合の解散に伴う財産処分について 飛騨農業共済事務組合の解散に伴い、財産を処分することについて議会の議決を求めるもの。	
下呂市地域コミュニティ施設設置条例の一部を改正する条例について 公の施設の見直し方針に基づき下呂少ヶ野北部集会所、下呂少ヶ野南部集会所及び下呂市三原集会所を地域に譲与するため改正するもの。	
下呂市第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例について 第1号会計年度任用職員の報酬等を規定するため、当該条例を制定するもの。	
下呂市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例について 第2号会計年度任用職員の給与を規定するため、当該条例を制定するもの。	
地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について 会計年度任用職員制度の運用が始まるため、関係する8つの条例について関係部分の改正をするもの。	
下呂市印鑑条例の一部を改正する条例について 住民基本台帳法施行令等の改正により、印鑑登録原票及び印鑑登録証明書についても旧氏が併記できるようにするなど当該条例を改正するもの。	
下呂市消防関係手数料条例の一部を改正する条例について 消費税増税に伴い、政令に定める手数料の標準額の一部改正が行われるため、引用する当該条例の一部を改正するもの。	

前ページに続き全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議 案 名	審議結果
下呂市ゆったり館条例の一部を改正する条例について 指定管理者により継続的に施設の運営をすることができる利用料とするため、当該条例の一部を改正するもの。	可 決 (全会一致)
財産の譲与について 下呂少ヶ野北部集会所を少ヶ野区に譲与するもの。	
財産の譲与について 下呂少ヶ野南部集会所を少ヶ野区に譲与するもの。	
財産の譲与について 下呂市三原集会所を少ヶ野区に譲与するもの。	
令和元年度下呂市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	
令和元年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第２号）	
令和元年度下呂市下水道事業特別会計補正予算（第２号）	
令和元年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）補正予算（第２号）	
令和元年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算（第１号）	
令和元年度下呂市学校給食費特別会計補正予算（第１号）	
令和元年度下呂市水道事業会計補正予算（第２号）	
令和元年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算（第２号）	
令和元年度下呂市立金山病院事業会計補正予算（第２号） 前年度繰越金の確定、前年度事業精算に伴う補正 他。	
平成30年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）決算の認定について	認 定 (全会一致)
平成30年度下呂市簡易水道事業特別会計決算の認定について	
平成30年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）決算の認定について	
平成30年度下呂市下呂財産区特別会計決算の認定について	
平成30年度下呂市学校給食費特別会計決算の認定について	
平成30年度下呂市水道事業会計決算の認定について	
平成30年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計決算の認定について	
平成30年度下呂市立金山病院事業会計決算の認定について 平成30年度各会計で執行した決算の内容を確認し認定。	
財産の譲与について 公の施設見直し方針に基づき施設とともに譲与すると決定した土地について所要の手続きが完了したため、馬瀬総合観光(株)に譲与するもの。	可 決 (全会一致)
財産の無償貸付について 下呂市美輝の里関連土地のうち源泉地及び用水路等、譲与には適さない土地について、馬瀬総合観光(株)に無償貸付するもの。	



少ヶ野区に譲与する少ヶ野南部集会所



令和2年4月に県下全域を対象とした組合を設立するため解散となる飛騨農業共済事務組合(高山市岡本町)

前ページに続き全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議 案 名	審議結果
損害賠償の額を定めることについて 市道で横断側溝のグレーチングが跳ね上がり車両を損傷させたため、損害賠償額を定めるもの。	可 決 (全会一致)
下呂市長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について 度重なる職員の不適切な事務処理による市民の信頼失墜に対し、市長及び副市長の給与を減額するため条例改正するもの。	
令和元年度下呂市一般会計補正予算（第6号）	
金山リバーサイドスポーツセンターの機器修繕に伴う補正。	

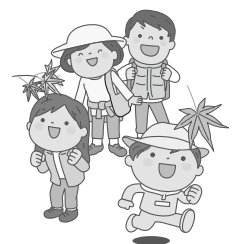
○賛否が分かれた議案【市長提出議案】

○…賛成 ×…反対

議 案 名	議 員 名													審議結果	
	尾里 集務	中島 ゆき子	田中 副武	今井 政良	各務 吉則	宮川 茂治	中島 博隆	伊藤 嚴悟	一木 良一	吾郷 孝枝	中島 新吾	中島 達也	中野 憲太郎		
令和元年度下呂市一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	議	×	○	○	○	×	×	○	○	可 決 (賛成多数)	
令和元年度下呂市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)	○	○	○	○		×	○	○	○	×	×	○	○		
令和元年度下呂市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号) 前年度繰越金の確定、前年度事業精算に伴う補正 他。	○	○	○	○		×	○	○	○	×	×	○	○		
平成30年度下呂市一般会計決算の認定について	○	○	○	○		長	×	○	○	○	×	×	○	○	認 定 (賛成多数)
平成30年度下呂市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)決算の認定について	○	○	○	○			×	○	○	○	×	×	○	○	
平成30年度下呂市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	○	○	×		○	○	○	×	×	○	○		
平成30年度下呂市介護保険特別会計(保険事業勘定)決算の認定について	○	○	○	○	×		○	○	○	×	×	○	○		
平成30年度下呂市下水道事業特別会計決算の認定について 平成30年度各会計で執行した決算の内容を確認し認定。	○	○	○	○	×		○	○	○	×	×	○	○		

○報告案件

議 案 名
一般財団法人下呂ふるさと文化財団の経営状況の報告について
健全化判断比率の報告について
資金不足比率の報告について
放棄した債権の報告について
平成30年度下呂市簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について



産業経済 常任委員会

9月18日、委員会を開催し、付託された3議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

『飛驒農業共済事務組合の解散について』（令和2年4月1日に県下全域を対象とした農業共済組合を設立するため、飛驒農業共済事務組合を解散するもの）

【Q】飛驒農業共済が解散し、県下1つの共済組合となるが、下呂市を含む飛驒地域は面積が非常に広い。「エリアが広いため、共済事故に対し速やかな対応がされない」と言われることが無いよう新しい組合でも職員を確保してほしい。またこの地域の特性が生かされ、農業が衰退しないよう、市として働きかけてほしい。

【A】飛驒地域は県土の4割を占めており、農業に従事する方も多い。今回の一本化にあたってはこれまでのように支所機能を残し、それぞれの機能を継続していただくことを共済議会で伝えていきます。

総務教育民生 常任委員会

9月17日、委員会を開催し、付託された10議案と、追加上程された2議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

『下呂市第1号会計年度任用職員
の報酬、期末手当及び費用弁償に
関する条例について』『下呂市第
2号会計年度任用職員の給与に関
する条例について』『地方公務員
法及び地方自治法の一部を改正す
る法律の施行に伴う関係条例の整
理に関する条例について』臨時的
任用職員や嘱託員などの非正規職
員は、令和2年4月以降、会計年
度任用職員という身分になりま
す。法改正は公務員における働き
方改革・同一労働同一賃金の実現
の一環で、非正規職員と正規職員
との間の処遇のずれを解消するこ
となどを目的としたもの。

Q 会計年度任用職員の任期は基
本1年と決まっているが、内部統
制などの事故防止対策をやってい
けるのか。また、災害発生など緊
急時において正規職員と同様に対
応ができるのか。

A 会計年度任用職員は、1年任

期ですが、正規職員と同様の責務があるもので、しっかりと法令にのっとり、内部統制についても取り組んでいただきます。災害対応については、会計年度任用職員が正規職員の業務のどこまでを担っていくのか、今後、検討していきます。

『財産の無償貸付について』美輝の里の関連土地で源泉地や用水路等、譲与に適さない土地を無償貸付するもの。

Q 譲与に適さない源泉地、用水路等とあるが、なぜ適さないと判断されたのか。また、源泉地については、不具合などがあつた際は、下呂市が責任を持つと言つ意味が含まれているのか。

A 無償貸付をする土地については、源泉地、用悪水路、法定外道路など譲与に適さない土地のほか、山林といった地目もあります。当時、美輝の里を始めるため馬瀬村が建物敷地周辺も含めて一体買収したといった経緯もあり、周辺土地も合わせて管理していただきたいといった考えで無償貸付を提案しました。源泉地については、あくまでも土地を貸すもので、管理はお願ひしていきますが、市としても当然関わっていかなければならぬと思っています。

予算特別委員会

9月20日、委員会を開催し、付託された12議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

『クリーンセンター人件費の増額』

Q 夜間におけるクリーンセンター対応職員を2人から3人体制に増員する理由は。

A 新しい焼却炉はきめ細かな焼却管理が可能となりましたが、これに伴い監視調整も必要であり、安定した焼却をするための対応です。

『森林環境譲与税の活用』

Q 防災面からも森林整備は必要であると思うが。

A 森林環境譲与税を活用し、まずは今年度、境界の明確化を進めていきます。また市内の森林を環境保全林にするのか、木材を利用するのかなど、関係者の意見を聞きながら決めていきます。併せて、人材育成を進めていきます。

Q この制度で停電災害を防ぐため、障害木などの現場確認は必要だと思うが。

A 協議会の中で実際に作業している皆さんの声を聞き、どこに問題があるかを明確化し政策につなげていきます。

Q 昨年の災害で発生した風倒木の処理はできないか。

A かなりの風倒木があることは確認しています。県は新たな制度を作りましたので、地権者はそれを活用していただきたいと思います。市もPRしていきます。

『愛知淑徳大学地域連携事業』

Q 愛知淑徳大学との連携の内容は。現状何人くらいが来ているのか。

A 同大学とは、9月に連携協定を締結しました。お互いの交流をより深め、地域の方とのふれあいやお年寄りとの懇談、コンサートの開催などを計画しています。小坂町矢ヶ野地内にある愛知淑徳学園の林間学舎「淑友館」には、昨年1年間で学園の中学生、高校生、大学生の合宿で、約2500人が宿泊しました。



愛知淑徳学園の「淑友館」 (小坂町矢ヶ野)



決算 特別委員会

9月24日、25日、26日の3日間、決算特別委員会を開催し、平成30年度一般会計決算、9つの特別会計決算、及び3つの企業会計決算の認定について審査し、全て認定すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

【一般会計】

（入湯税）

Q 入湯税は旅館が一時的に預かったお金なので、滞納が無いように100%収納してほしい。

A 預かり金なので100%収納となるようやって行かなければいけないが、滞納もあるので、誓約書をとり分納いただいています。今後も努力して収納につなげていきます。

（職員研修費）

Q 今回不適切な事案があったが、職員研修を終えた後に、学んだ情報を職員で共有をはかっているのか。

A 研修を終えた職員は業務報告書を作成し、課内や人事担当に回覧し共有を図っています。また、学んだことを自主研修会の講師として、他の職員に伝えていくなどの取り組みを行っています。

（国際交流）

Q これからの子どもたちは国際

感覚、異文化に触れることが大事。国際交流に対する教育長の考えは。

A お互いの国の文化を理解し尊重し合う、国際理解教育の重要性は感じています。グローバル化社会に向けて、世界を相手に活躍していく人材を育成したいと考えています。

（特別顧問）

Q 特別顧問を委嘱しその効果があったのか。

A 特別顧問の持っている人脈を生かしながら、著名人を招へいしていたが、研修会、講演会、清流マラソンに参加いただくなど、下呂市の活性化につなげていただいています。

（老人等緊急通報装置）

Q 平成30年度は設置件数が減っている。これは、新システムに変えたのが原因では。本当に機能しているのか。

A 金額の改定と共にサービスの充実が図られています。これにより利用頻度は上がっています。

（移動販売支援事業）

Q 移動販売支援は今後お年寄りにとって更に必要となってくる。市長裁量枠に位置づけた事業だが補助金は5事業所で32万円と少な

い。本当に生かされているのか。
A あくまでも3年間の試験的運用として事業を始めています。今後は総合事業の日常生活支援の枠組みの中でも、試験的運用の検討をしていきます。

（市営住宅のバリアフリー化）

Q 高齢化により、入居募集に際し高齢者への配慮と施設のバリアフリー化は。

A 入居に際し高齢者は低階層に入っていたけるよう配慮しています。バリアフリー化については、公営住宅の長寿命化計画に盛り込んでいきます。

（住宅太陽光発電設置助成）

Q 住宅用太陽光発電の設置助成について30年度をもって廃止とのことだが、これまでの利用件数は。

A 設置件数は310件です。売電価格が下がったことにより設置数が減少し、補助する意義が低下したため助成をやめるものです。

（有害鳥獣捕獲事業）

Q 有害鳥獣の捕獲頭数、捕獲報奨金が前年度に比べ大幅に減少した理由は。

A 今年1月に狩猟事故があり、狩猟を自粛したためです。主にシカの捕獲頭数が減少しました。

（有害鳥獣中間処理施設）

Q 施設の利用が少ないと聞く。有害鳥獣の処理状況は。

A シカ11頭、クマ10頭です。利用が少ない理由の1つにイノシシの搬入を、豚コレラの関係で見合わせていました。現在イノシシも搬入する方向で関係団体と調整しています。

（新給食センター）

Q 北部学校給食センターが完成したが、円滑に運営されているのか。

A 北部は3つのセンターが1カ所に集まったため、作業の内容も配送の方法も変わりました。このため、夏休み中に市職員を対象に5回ほど試作を行い、調理手順や配送などの確認をしながら、本運用を開始しました。若干の修正は必要ですが、円滑に運営しています。

【特別会計・企業会計】
（地域サロン事業）

Q 来年度から地域サロン事業のあり方が見直されるようだが、どのように考えているのか。

A サロン事業は地域のボランティアや社会福祉協議会の協力により運営がされてきました。また、今後も実施されることを期待しています。ただし、経費負担や介護

保険制度との関係で見直すべき事項もあります。介護保険運営協議会の意見を伺いながら方向性を定めていきます。

（水道検針）

Q 水道の検針員が不足することや、経費節減の意味から1カ月に1回の検針を、2カ月に1回としたらどうか。

A 毎月の検針は検針員の負担になり、経費もそれだけかかりますが、漏水の早期発見につながる意味から毎月検針としています。

（合掌村しらさぎ座）

Q 合掌村内のしらさぎ座の活用充実を図るべきでは。

A 芸妓の舞、太鼓団体や地歌舞伎の公演などを定期的に実施しています。また交流会館とタイアップし、交流会館に出演した方に翌日来ていただくことで、経費節減を図っています。併せて地元の芸能団体に利用していただけるよう働きかけをしていきます。



監査委員の決算審査意見

平成30年度下呂市一般会計・特別会計歳入歳出決算審査意見書

（抜粋）

昨年7月に発生した豪雨災害は、当市に未曾有の被害をもたらした。このため、当年度の決算は、災害関連経費が多額に上り、基金の取り崩しなどで収支の均衡は保たれたものの、実質単年度収支はかつてない規模の赤字となった。施策は、一部の事業は繰り越されたが、懸案であった新クリーンセンター整備事業や下呂庁舎の整備事業などの大型事業は完了し、「人口減少対策」「行財政改革推進」「地域づくりのしくみ」という第二次総合計画の3つの重点プロジェクトや、基本施策に基づく「子育て支援」「公の施設の見直し」「健康づくり」など多くの重点実施事業が推進された。

中略

これまで取り組まれてきた職員数削減の結果において組織に年齢構成の歪みが生じたことに加え、職員の業務負担が増大したことによって、業務の「個人完結型」が増えていないか懸念される。特に給付事務の不適正な事案は、市民生活に及ぼす影響に対する認識が希薄であると言わざるを得ない。マニュアルなどで業務プロセスを可視化するなど、内部統制に対して全庁的に取り組み、一層推進されるよう要望する。

中略

これから、人口減少などにより税収等自主財源の大きな伸びが見込めない

中にあつて、歳出においては、一般廃棄物最終処分場新施設整備事業や地域再生計画に基づく各事業の本格実施などが予定されている。また、公共施設の老朽化対策や、2025年問題など高齢化社会の進展による社会保障費の増嵩も見込まれるなど、一層厳しい財政運営を強いられることが予想される。こうした状況の中で、第2次総合計画基本施策の実行性を担保するためには、財政計画が重要であることは論を俟たない。災害などにより単年度の収支バランスが急激に悪化した当年度の決算を契機として、市が担う役割を果たすために、今後の中期的な財政見通しを的確に行い、市の財政の課題を明らかにすることが必要であると考えられる。については、第4次下呂市行政改革大綱を踏まえたうえで、具体的な数値目標等を掲げた財政運営方針や、財政規律を定めた財政計画を改めて策定されることを要望する。そして、当年度のような災害など特別な場合を除き、財政計画とかけ離れないよう財政運営に努力されることを期待して、むすびとする。

令和元年8月23日

下呂市監査委員 杉山好巳
下呂市監査委員 中島博隆

※詳細は下呂市ホームページをご覧ください。



4 番
今井政良議員

市内小中学校による資源リサイクル活動の必要性について

①仮に全てクリーンセンターに持ち込んで処理をした場合、市民負担となる処分費はいくらか。

◆環境部長

昨年度の回収量により試算すると、ごみ袋購入など直接負担として1040万円、クリーンセンターごみ処理費用として480万円となります。

②教育面からみた資源リサイクル活動の必要性は。

◆教育長

資源リサイクル活動は、保護者や地域の皆さまにご協力いただきながら、働くことの大切さを体験する活動です。また、こうしたことを機会に、リサイクルの必要性や仕組みを考える機会になっています。

③中国の古紙輸入規制問題などの影響を受け、回収業者の購入単価が下落している。市は資源リサイクル活動を継続するため、購入単価の下落分を奨励金に上乗せして支給すべきと思うが市の考えは。

◆環境部長

資源回収は費用を軽減することが主たる目的ではありません。本来の目的であるごみの減量化や、意識の高揚に沿った中で、社会情勢を見極めながら奨励金の検討をしていきます。

決算審査で監査委員が指摘した職員による5件の不適正事案に対する市長の対応は

①職員による5件の不適正事案に対し、市のトップである市長の考えは。

◆市長

市民の皆さまにご迷惑をかけてしまい改めてお詫びを申し上げます。今回こういった事案が発生した要因は、横の連携や各部課内でのコミュニケーションが不十分であったと考えます。何でも相談できる職場作りが重要であると考えます。

②不適正事案を受け、今後どのような方法で職員教育などを進めるのか。

◆市長

内部統制として法令遵守を徹底し、違反に気づいたら上司に報告、相談して適正に対応する。公金の適正管理のため、複数職員による確認を行うなど全職員に指示をしました。また職階に応じた研修の実施や外部での一般研修の受講、各業務の専門研修を積極的に受講できる体制を整えていきます。



2 番
中島ゆき子議員

下呂市の財政計画について

①限られた予算の中で市民満足度の高い行政サービスを行うため、市は将来に向け持続可能な財政計画を立てているか。

◆総務部長

財政計画の基本方針に基づき、財政シミュレーションを繰り返し見直すことで、中期的財政計画（5年間）、短期的財政計画（1年）を策定し、計画的な財政運営と予算編成に努めています。

②今後取り組みなければいけない事業の内、優先的に取り組まなければならない事業は。またその財源は。

◆総務部長

一般廃棄物最終処分場新施設整備事業、地域再生計画に伴う各事業、小中学校長寿命化事業などは、優先的に取り組まなければならない事業です。なお、財源は、国庫補助金や市債の発行を考えています。

③合併特例債など公債費の返済について、いつ頃が返済のピークになるのか。

◆総務部長

令和2年度以降、令和5年までの市債の借入見込みを加味した上で、返済のピークは令和2年度になります。返済額は約28億7千万円を見込んでいます。

④昨年の大きな災害対応で財政調整基金が大きく減少したが、今後の下呂市の財政に影響はあるのか。

◆総務部長

平成30年度の財政調整基金の活用額を8億円としましたが、8億円とは別に災害対応の影響で6億5千万円を想定外に取り崩しました。このため令和元年度以降の各年度における基金活用計画を、それぞれ2億円減額することとしました。

下呂市地域公共交通網形成計画の進捗状況について

今年2月に新しい下呂市地域公共交通網形成計画が策定された。その計画により市内交通網の改善されたところは。

◆生活部長

今年度4月から中原、上原地区において、タクシー車両及び10人乗りの車両によるデマンド運行を試験中で、10月から本格運用を開始する予定です。令和元年4月から7月までの4カ月で乗車延べ人数は338人、前年の同月と比較し141人の増で、運行形態を変え、利用者が増加しています。



3 番
田中副武議員
(公明党)

子育て支援の充実について

①病児保育に係るニーズ対応について市の考えは。

◆健康福祉部長

ニーズ調査の結果によると、小学校入学前の家庭において、子どもが病気の時、父または母のいずれかが休んで看病したのは231家庭、46.8%でした。そのうち、病児保育や病後児保育などを利用したいと回答したのは92家庭、18.6%でした。利用したくないと回答したのは126家庭、25.5%でした。

②体調不良児保育サービスの提供について市の考えは。

◆健康福祉部長

かなやまこども園に続き、次は規模の大きい園、例えばわかばこども園やみなみこども園などから開始できるように、環境整備を進めたいと考えています。

③災害時の乳幼児栄養支援のための液体ミルクを備蓄に追加しては。

◆健康福祉部長

消費期限が比較的短いことや対象者が限られることから、各自で

の備蓄をお願いします。なお、薬品会社などと協定を結ぶことにより災害時に提供いただくことを検討しています。

高齢運転者のために

後付けの安全運転支援装置の啓蒙を積極的にするべきではないか。また、装置取り付けにかかる助成を市でできないか。

◆市長公室長

取り付けに係る課題や、自動車メーカーによる各種安全運転のための装置の開発、それを装着した車も近年多く販売されており、それらを踏まえ市は助成について引き続き検討していきます。

10%になる消費税について

①小売店における軽減税率に対応した対策は進んでいるのか。

◆観光商工部長

市内の小売店がどれだけレジスタの更新などを行っているか、はつきりしたことは不明ですが、まだそれほど多くの事業者は更新をされていないという印象です。

②市は軽減税率について、市民周知に努めるべきではないか。

◆観光商工部長

消費税率の変更について、一般的なことを下呂市ホームページで紹介しています。また、今回の制度改正については、9月15日発行の広報お知らせ版にも、記事を掲載し周知を図っています。



1 番
尾里集務議員

下呂市地域公共交通網形成計画について

①バス路線の見直しなど、計画は進んでいるのか。

◆生活部長

馬瀬地域は濃飛バスが路線運行からの撤退を表明したことから、新たな交通体系を維持するため、スクール便を確保しつつ、それ以外の運行をデマンド方式に変更することを検討しています。また、小坂地域は濃飛バス路線の下呂湯屋線が撤退するため、タクシー会社によるデマンド方式で運行する形態について、協議を重ねています。

②旧下呂温泉病院跡地を二次交通の発着所として計画が進められていたが、この計画の進捗は。

◆市長公室長

JR下呂駅周辺部や、旧下呂温泉病院跡地を含めた幸田地区一帯のあり方について、関係者の意見を聞きながら、改めて再検討をしていきたいと考えています。

③運転免許自主返納者に対する支援措置は。

◆生活部長

現在実施している福祉パスポート事業の継続的な実施や、それぞれの地域にあった公共交通運行形態の構築を目指します。

森林環境譲与税を活用した取り組みについて

森林環境譲与税の有効活用のため制度設計はどのようになったのか。また次年度の取り組みは。

◆農林部長

準備段階として山の状況や所有者情報をまとめた林地台帳と、詳細な地形図や木の生育状態などを表した地図を作成します。現場へ行かなくても、ある程度は木の状態や所有者境界が分かるような資料を作成し、地域座談会などで説明の上、森林経営の意思確認を進めたいと考えています。次年度の取り組みは、人材の育成や機械設備導入などの支援、木材の利用促進などを考えています。

下呂市鳥獣被害対策について

下呂市鳥獣被害対策実施隊の今後の取り組みは。

◆農林部長

狩猟免許を取得された方への銃の取り扱いの指導や、安全講習への参加など、実際の現場での実践的な指導も含め、今後とも猟友会と協議しながら、より効果的に役割を果たせるよう進めていきます。



12 番
中島新吾議員
(日本共産党)

災害に強いまちづくりは周辺部への対策が重要

防災対策は被害の拡大を防止するための予防対策が重要。
①災害の情報収集と集約、分析、市民への伝達体制の充実。

◆市長公室長

市長公室では、災害対策本部連絡室として情報整理班、本部運営班、広報班、情報分析班を編成し、適切に本部対応ができる体制を組織しました。

②地域、地区での自主的な取り組みをしっかりと支援すること。

◆市長公室長

各地域、団体で行われる災害対策の勉強会に、今年度から採用した気象予報士でもある危機管理課防災減災対策監を講師として、今まで11回派遣しています。

③岩屋ダムの豪雨時の放水について、住民に分かりやすく伝える仕組みを。

◆市長公室長

岩屋ダム管理所は、放流の可能性がある場合にはこれまでの3時間前通報を、4時間前通報に変更することとしました。また、これ

に伴うダム管理所からの音声放送は、緊急効果音を鳴らした後、音声放送を行ってサイレンを吹鳴するとのこと。

④予防対策において地域の防災力向上のため 振興事務所の役割と責任が重要。

◆市長公室長

危機管理課を中心に多くの関係部署と、各地域支部となる振興事務所が一緒になって、オール市役所として取り組んでいくことが必要と考えています。

周辺部の活性化には振興事務所が拠点

周辺部で、将来への不安の声が強く出されている。周辺部の活性化が市全域の活性化につながるまちづくりが大事。そのため振興事務所を、現場主義を重視した体制にすること。

◆総務部長

第二次総合計画の重点プロジェクトの一つに行財政改革プロジェクトがあります。その目的を達成するため「行政組織の見直し」を行うこととし、振興事務所機能の見直しもその一つであります。これを受け、下呂市行政改革大綱では「振興事務所は地域の行政窓口としてなくてはならない業務のみとし、それ以外は本庁舎で行うため、業務移管を進めます」としており、これに基づき進めています。



11 番
郷孝枝議員
(日本共産党)

補聴器助成などであんきに住める町づくりを

①高齢者人口の増加に伴い、加齢性難聴者が増えています。認知症予防にもつながる補聴器の購入補助をしてはどうか。

◆健康福祉部長

国において難聴者の補聴器購入に対する議論がされつつあります。当市としては、国の議論なども踏まえつつ、今後の対応について検討していきます。

②詐欺や悪徳業者からの被害を防ぐため、自動通話録音警告機の設置補助をしてはどうか。

◆健康福祉部長

現時点において補助制度の創設は考えていません。今後については、県内他市の状況なども踏まえつつ検討していきます。

高校生育英資金と合わせ入学準備金の給付を

義務教育の小中学生には就学援助制度があり、入学準備金もあります。高校には多大な準備金が必要です。高校生育英資金と合わせ入学

準備金を給付できないか。

◆教育部長

育英資金、児童福祉金、高等学校就学支援金など制度の充実とともに、段階的に負担の軽減が図られていると認識しており、現段階で、高校入学時の入学準備金の制度の創設は考えていません。

養護老人ホームにエアコン設置を

現在、高齢者が暮らす養護老人ホームに冷房設備がありません。猛暑日も扇風機だけでしのいでいるような現状です。市が責任をもつて、早急に現状改善をすべき施設ではないか。

◆健康福祉部長

どのような方法がより効果的か、指定管理者である下呂福祉会と検討しながら、令和2年度予算編成に反映できるよう進めます。



あさぎりサニーランド全景(左端は養護棟)



9 番
伊藤 厳 悟 議 員

位山自然の家について

①学校教育に対して位山自然の家が果たしてきた役割は。

◆教育長

自然の家はセカンドスクールの役割として有効に活用しています。子どもたちにはこの自然の恵み、役割を肌で感じて学んでほしい。そしてこの豊かな自然を後世に残してほしいと願っています。

②耐震化の方向性は。

◆市長

耐震診断の結果と、施設が建っている場所は土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に指定されており、利用者の安全、安心を第一に優先すると、現在の場所耐震化して今後も使用することが、非常に難しいと考えています。ただし山之口区の皆さまとは、今後の施設のあり方などについてしっかりと協議をしながら対応を考えていきます。

図書館整備の進捗状況について

①図書館の担う役割と重要性は。

◆教育長

近年図書館が担う役割は、単に

本を貸し出すだけの施設から、学生や地域の皆さんの学びの場として生涯学習の拠点、子育て支援や高齢者の活動の場など、強いては総合的なまちづくりの一翼を担う施設として、さまざまな機能を有した複合施設的な役割が求められると認識しています。

②図書館整備の進捗状況と新年度に向けた展開は。

◆市長公室長

現在、社会教育委員会を中心に、下呂市立図書館のあり方研究会を設置し、下呂市における図書館のあり方について、検討をいただいています。今年度内には将来の下呂市を見据え、必要な機能を備えた地域に愛される図書館像など、具体化した提言を取りまとめたいと、ただようお願いしています。来年度はこの提言を基に、次のステップに進めていきたいと考えています。

中山間地域を守る下呂市の農林振興対策

農林業の担い手確保について。

◆市長

農業者、林業者が誇りを持って仕事ができるよう、市としてしっかりと支えていける、そういった予算編成を令和2年度は考えていきます。



7 番
宮川 茂 治 議 員
(日本共産党)

昨年の災害を振り返って

昨年の豪雨災害は、各地域に大きな被害をもたらした。大きな災害箇所は、国、県の災害復旧工事が進められ、整備されてきている。しかし中小河川には手がついていない箇所も多く見受けられる。そうした場所について、市はどこまで把握しているのか。把握している場合、その対策について伺いたい。

◆建設部長

中小河川や公共災害に付随する箇所を含め、公共災害以外の状況は、地域の区長さんなどからの情報や職員による点検により23箇所を把握しましたので、今回の9月定例会に補正予算として上程しています。

旧下呂温泉病院跡地の駐車場利用について

現在空き地になっている旧下呂温泉病院跡地は、観光客が多い時期など駐車場になることがあるが、これは一時しのぎの使用なのか。将来を考えるとつきり臨時とわかるように明記して使用すべきではないか。

ないか。跡地は市営の駐車場であるかと誤認されないようにしていただきたい。

◆観光商工部長

旧下呂温泉病院跡地は平成28年4月に下呂市湯けむり広場条例を制定し、設置目的に沿って使用申請を提出の上、許可書を交付し利用いただいています。現在は、申請があった期間のみ臨時駐車場として暫定的に利用を認めています。臨時であることを明記した看板などを設置するよう指導していきます。

平和に関する展示啓蒙について

原爆写真展が市役所下呂庁舎内で8月9日から23日に行われた。非核平和都市宣言を行った市であり、引き続き毎年こうしたことを行っていたきたい。また、展示の写真はサイズが大変小さく、近づかないとどういう写真なのかわからない大きさであった。せっかく展示するのであれば、タイトルを表示し、来場者の目に留まるような対応はできないか。

◆総務部長

このポスター展は、来年度以降も継続し行っていくとともに、議員にご指摘いただいた展示方法などについては、来年度以降工夫をしながら行っていきます。



13 番
中島達也 議員

市長任期満了を控え総括を伺う
市長残任約6カ月となり公約の達成などどのように総括しているのか。また、残任期間への決意を伺う。

◆市長

「まちづくりは人づくり」魅力ある下呂市づくりを目指して4つの基本理念のもと進めてきました。女性の輝きの場として「みらいろ」の皆さんが子育てしながら仕事ができるよう進めています。地域づくりでは、地域おこし協力隊12名の方が下呂市で活動し、うち3名は地元に住じていただくことができました。また、昨年の豪雨災害を受け防災力の強化については、最重要課題として今後も進めていかなければなりません。大型事業ではクリーンセンター、北部・南部給食センター、最終処分場も地元のご理解をいただき進めることができました。今後も地域の皆さんが安心で、希望をもって住むことができる町を目指し、まい進していきます。

運転免許更新時における高齢者講習施設の確保について

6月議会で取り上げたが、運転免許更新時における高齢者講習施設の確保について、その後の対応を伺う。

◆市長

高齢者が地元で講習を受けていただけるよう、担当部で検証し、存続に向け検討しています。新年度に向け確実に答えを出していきます。

昨年の豪雨災害の復旧状況は

昨年の豪雨、台風により当市は未曾有の被害を受けた。復旧状況は。

◆建設部長

道路災害25カ所、河川災害69カ所、橋梁災害3カ所、他1カ所において復旧作業を進めてきました。8月末現在の進捗率は50%となっています。

◆農林部長

昨年度、国の農業用施設災害復旧事業に採択された復旧については、全て工事を完了しています。

ハザードマップの見直しは

◆市長公室長

ハザードマップは今年度から順次見直しを行います。地域の皆さまとグループワークなどで、自分の地域がどうなっているのかを認識していただきながら見直しを進めていきます。



10 番
一木良一 議員

小坂町大島谷橋整備工事の進捗状況について
早期完成に向けさらなるスピードアップを。

◆市長

上部工は、桁の工場制作が必要で期間を要するため、上部工を前倒して発注し、橋台施工後早期に桁を架設できるようにします。次年度への繰越工事になることが予想されますが、完成が早まることは明確です。

下呂市公共交通の現状及び課題と対策について

①今後廃止予定のバス路線について。

◆生活部長

濃飛バスは馬瀬地域の馬瀬線と小坂地域の下呂湯屋線、どちらも令和2年4月からの撤退を表明しています。

②バス路線廃止に伴う地元住民、交通弱者への対応について。

◆生活部長

馬瀬、小坂地域は路線の撤退により市民の生活に大きな影響を与えることから、デマンドバスの運

行を提案しご理解をいただいています。市は今後も公共交通を継続的に維持し、交通弱者への交通手段の確保に努めます。

③住民ボランティアによるバス運営事業に対する市の助成を。

◆生活部長

ボランティアで輸送行為を行う場合は、性質上、道路運送法の法的な規制の対象外となるため助成する制度はありません。

下呂温泉病院勤務医のために、市による住環境の整備を

国、県、岐大と連携しながら進めるべきと考えるがいかがか。

◆健康福祉部長

下呂温泉病院移転に関する覚書の中でも、医師住宅確保への協力に関する事項が盛り込まれています。今後も下呂温泉病院、医師会などと連携し、地域医療を守るため、医師確保支援策の一環として、住環境整備についても下呂温泉病院と連携を取りながら進めていきます。





14 番
中野憲太郎議員

教育長に就任されての所信を

学校教育の中でどのような子どもを育てて行くのか、新教育長の考えを聞かせていただきたい。

◆教育長

「ふるさとの風を感じ、生き生きと輝く姿を求めて」という言葉を基に、3つの思いを述べさせていただきます。まず一つ目はふるさとを愛し、ふるさとを誇りに思い、次の世代へとつなげるこのことができる子。二つ目は自分らしさを感じる存分発揮できる子。3つ目は自他の人権と命を大切にする子です。この3つは学校だけで成し得ることはできません。地域・家庭・学校が願いを共有し、それぞれが役割を自覚し責任を果たしていく、そんな教育を願っています。

学校教育予算の確保について

これまでも度々聞いているが、間もなく新年度予算編成作業が始まる。学校教育予算についての課題と、来年度予算の方向性は。

◆教育部長

施設改修については、大規模改修など国の助成を受けられる方向

で整備を進めていく予定ですが、教材や備品なども、更新や整備の必要なものが増えてきている現状にあり、一歩でも二歩でも着実に前に進めていきたいと考えています。

市役所の組織見直しを行った成果は

振興事務所の課長を廃止し所長が兼務するなど、組織の見直しを行ってきたが、その成果と課題は。

◆市長

これまでの組織の見直しにより、職員の給与や管理職手当等の人件費は合併当初と比較して大きく削減されましたが、昨今の業務の高度・複雑化が進む中、部課長は監督業務など範囲が広くなり、また職責も重くなってきたいます。また、職員採用の抑制により年齢バランスに大きなひずみが生じていることを踏まえ、これまでの組織の見直しの検証と今後の定員適正化計画を見直し、適切な職員採用・人員配置について検討していきます。



萩原振興事務所

市内視察

総務教育民生常任委員会

〔7月16日〕

◆視察先・内容

1下呂市立わかばこども園

①休日の園庭開放について②病児保育に係るニーズ対応について③通園・園外活動時における安全対策について④大規模改修について説明を受けました。

休日の園庭開放については、外から園庭が確認できない構造のため防犯カメラを設置し開放したいと説明がありました。また滋賀県の園児交通事故を受け、園外活動を行う場合は事前に下見を行い、危険箇所の対応などを記した「遠足等園外保育届出書」の作成や、警察にも連絡するなど、引率者含め8～9名で担当しており、安全に配慮していました。

2厳立峽ひめしやがの湯

民間譲渡後の運営状況について、社長及び役員から現在の運営状況について説明を受けました。

4月15日のオープンから3カ月が経過した現状は、灯油の値上がりや電気代、人件費などの経費が思った以上にかかるため、今後改善が必要なことや、平日の集客のた

め、送迎サービスの実施を計画してみえます。地域の熱い思いを受けて譲渡された施設であり、みんなで盛り上げて行きたいと説明がありました。

3下呂市北部学校給食センター

8月から運用を開始する給食センターの準備状況を視察しました。スタッフは栄養士3名と調理員28名からなる6班体制で調理し、メニューによって配置を変えるところです。新施設は徹底した衛生管理体制のもと調理をすると説明を受けました。これからは児童・生徒に安全で美味しい給食がとどけられます。



新しく設置された機器の説明を受ける委員

市内視察

産業経済常任委員会

〔7月31日〕

◆視察先・内容

1 環境部関係施設

4月から運用を開始した新クリンセンターや、ペットボトルリサイクルセンター、中山浄化園及び新最終処分場建設予定地を視察し、それぞれの現状などを確認しました。

令和4年度から供用開始予定の新最終処分場（下呂市夏焼）は、長さ108m、幅38m、埋立深さ9mの完全被覆型施設で、埋立期間は20年であると説明を受けました。



令和2年度から着工予定の最終処分場

2 下呂土木事務所・下呂農林事務所

令和元年度の県関係主要事業の現状や課題について説明を受け、国、県の今後の動向などについて意見交換を行いました。

3 下呂市有害鳥獣中間処理施設

萩原町上呂に設置された中間処理施設の運営状況について説明を受けました。

施設内は有害鳥獣を冷凍する冷凍庫と、冷凍した個体を切断する切断機、個体を搬送するフォークリフトなどが設置されています。猟友会員の有害鳥獣処理の負担軽減となることを期待しています。



下呂市有害鳥獣中間処理施設(萩原町上呂)

12月定例会会期日程

12月定例会の会期日程をお知らせします。なお一般質問等の内容は新聞折込でお知らせします。

月 日	曜日	会 議 内 容	時 間
11月29日	金	本会議(初日)	午前10時～
12月11日	水	本会議(一般質問)	
12日	木	本会議(一般質問)	
13日	金	総務教育民生常任委員会	午前9時30分～
16日	月	産業経済常任委員会	
17日	火	予算特別委員会	
19日	木	本会議(最終日)	午前10時～

※日程は変更になる場合もあります。

場所：本会議（下呂庁舎3階議場）
委員会（下呂庁舎3階第1会議室）

表紙の写真

竹原小学校運動会が9月24日開催されました。同学校の運動会種目の中には、近年見られなくなった鼓笛パレードがあり、昭和50年代から運動会で引き継がれている伝統の種目で、今年は4年生から6年生までの82名で演奏されました。勇壮な演奏に、来賓や地域の皆さん、家族の皆さんから大きな拍手が送られました。初めて演奏する4年生の指導を6年生が積極的に行ったと説明があり、引き継がれる学校の伝統、地域の伝統など多くのことが、これから先も継続されることを願っています。



